

●6月3日発売

はる書房

消費税、送料ともサービス(無料)でお届け!!

ちやく しょう ぜん しん だん

はじまった着床前診断

— 流産をくり返さないための不妊治療 —

大谷徹郎(医師)・遠藤直哉(弁護士) 編著

四六判並製・312ページ・本体2,000円(税込2100円) ISBN4-89984-063-2

これまでに海外では1000例以上の成功をおさめている着床前診断。「画期的な医療」と言われながら、日本では明確な理由なしに禁止されてきた。着床前診断でしか出産できない患者がいるとき、医師は患者の求めに応じて治療すべきか否か、患者の権利とは何か、倫理とは何か、患者の権利を確認する訴訟と着床前診断の実施のなかで明らかになってきた。

着床前診断で、流産が減る、妊娠率が上がるというのは本当ですか？

着床前診断と出生前診断はどう違うのですか？

着床前診断がこれまで日本で行えなかったのはなぜですか？

着床前診断に反対する人たちの理由とは何ですか？

着床前診断の成功例はこれまでにどのくらいあるのですか？

着床前診断による「男女の生み分け」は可能なのですか？



目次

1部 着床前診断について知ってほしいこと〈大谷徹郎・遠藤直哉〉
不妊や流産を解消する方法としての着床前診断／元気な赤ちゃんを産み育てる権利／着床前診断は体にやさしい検査？／簡単な血液検査で済む染色体検査／着床前診断で妊娠率の向上を／医師・看護師・遺伝カウンセラー・不妊カウンセラーの役割／患者に対する医師らの説明義務の拡大

■着床前診断の理解に役立つQ&A

2部 患者が求める不妊治療

- 1 着床前診断を知っていたら—患者手記—
- 2 患者支援の政策を〈野田聖子〉
- 3 選択肢としての代理母・卵子精子提供・着床前診断〈野田聖子・根津八紘〉

3部 日本でもはじまった着床前診断

- 1 妊娠の成功、早期治療の必要性〈大谷徹郎〉
- 2 流産をくり返さないための不妊治療〈大谷徹郎〉
- 3 着床前診断の実施を実現した権利確認訴訟〈遠藤直哉〉

4部 撤廃すべき禁止の会告

- 1 着床前診断の永い歴史的展開に思う
生殖医療の展開をはばむものは？〈飯塚理八〉
倫理は誰がためのものか—規制するものの権利と義務〈飯塚理八〉

日本産科婦人科学会の改革へ向けて〈柳田洋一郎〉

- 2 受精卵診断についての新たな論点〈遠藤直哉〉
—染色体異常(習慣流産)に対する受精卵診断の必要性
- 3 ジェンダーバラエティーに必要な男女生み分け〈遠藤直哉〉
—ジェンダーバイアスかジェンダーアンバランスか
- 4 日本産科婦人科学会の答申書への反論〈大谷徹郎・遠藤直哉〉
- 5 “医学的理由”に基づいた大谷医師の着床前診断〈児玉正幸〉
- 6 着床前診断は「障害者への差別を助長する」のか〈児玉正幸〉
- 7 患者とともに問題提起してきた19年間〈根津八紘〉

5部 海外の着床前診断実施国が出した答え

- 1 患者の権利への行きすぎた制限—日本における着床前診断の現状批判
〈サンティアゴ・ムネ／ジャック・コーエン〉
- 2 世界三大センターからの報告〈ユーリ・ペリンスキー／ジャック・コーエン／サンティアゴ・ムネ／ルカ・ジャナロリー他〉
- 3 非医療分野までの着床前診断の多様な発展〈ジョン・A・ロバートソン〉
- 4 受精卵・胚はいつからヒトになるのか〈米国生殖医学会倫理委員会〉
前胚と胚の違い
前胚の道徳的・法的地位をめぐる考察

申し込み はる書房営業部まで 郵便またはFAX、Eメール(info@harushobo.jp)でお申し込みください。消費税、送料ともサービス(無料)でお届けいたします。代金のお支払いにつきましては、同封の郵便振替にてお願いいたします。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-44

FAX 03-3293-8558

お名前：

ご住所：

お電話番号：

メールアドレス：

はじまった着床前診断

を 冊申し込みます